

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和2年度第1回図書館協議会		
開催日時	令和2年7月28日(火) 午後6時30分～8時00分		
開催場所	茅野市役所 議会棟大会議室		
出席者	矢崎智義委員長、岩崎和子副委員長、田村満理委員、原猛委員、三代沢正委員、両角薫委員、小口かおり委員、平澤洋子委員、百瀬るみ委員、矢崎進一委員 山田教育長、北沢生涯学習部長、藤森生涯学習課長、五味図書館長、両角図書館係長		
欠席者	伊藤英一郎委員、戸田茂生委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者 教育長	協議内容・発言内容 1 開会(生涯学習課長) 2 教育長あいさつ 皆さんこんばんは。今日はありがとうございます。今年1月に開催して以来、新型コロナウイルスの感染拡大防止の関係で、なかなか会議が開けなかったという状態でした。図書館協議会の皆様には、いつも10年20年先の図書館のあり方について、知的文化のあり方についてご提言いただくと同時に、日々の図書館運営について貴重な提言をいただいています。今年もよろしくお願いいたします。 私個人のことを申しますと、この協議会の後必ず本を読みたくなります。皆様本が好きな方がそろっていらっしゃるの、伝わってくるのかと。皆様方のご提言に対して行政としても精いっぱい答えて、特にこれから10年20年先の茅野市図書館をどう考えていくか。決して、今の延長線上にあってはいけないかと思えます。しっかりやっていきたいと思えます。 毎回本のお話をしています。司馬遼太郎「花神」という本をご存知でしょうか。20代に読んだ本で大村益次郎の伝記小説。また読みたくなりました。時代の流れの中で翻弄されることなく、技術者として生きてきて、最後暗殺されてしまった人。このあと自分の言葉が続かない。それで、あと何年かして、その時自分が何を感じとるのか楽しみです。75歳になったらもう一度読み返したいと思っています。本というのは本当に楽しいと思えます。どうか、今年一年間よろしくお願いいたします。 3 委嘱書交付 教育長から交代委員2名に委嘱書が交付される。 4 自己紹介 (委員及び職員が自席で自己紹介を行う)		

図書館係長	<p>5 審議会の公開について (資料に従い、審議会等の公開について事務局から説明。)</p> <p>(特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定)</p>
図書館係長	(事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告)
生涯学習課長	<p>6 会議事項 これより会議事項に入ります。進行は矢崎委員長にお願いします。</p>
委員長	(1) 令和元年度図書館運営報告及び令和2年度図書館運営について 最初の会議事項は、「令和元年度図書館運営報告及び令和2年度図書館運営について」、館長から説明をお願いします。
図書館長	(資料3・4について、図書館長から説明を行う。)
委員長	ご質問、ご意見ございますでしょうか。
委員	外に対して発信したいとおっしゃっていましたが、オンラインでの発信は何かお考えでしょうか。最近ネット配信のツールも使いやすくなっていますので。
図書館係長	周知の関係、たとえばFacebookとかのことでしょうか。
委員	そうではなくて、Zoomとか。実は授業をそれでやっています。相手が100人くらいいてもオンライン授業という形でやっていますけれども。そういう形でやれるのであれば、あきらめる必要はないのでは。
図書館長	<p>今回理科大の講座を行うにあたって、理科大の先生ともこういう形がという話はしています。試みてもいいのではないかと思います。ホームページも見にくいという話があり、工夫して変えています。去年も「すわズラ～」を使えることを学生がわかっているのかという話がありましたが、そういうところもつなげていかなくتهはいけないと思って、ホームページと「すわズラ～」をつなげるようにもしてみました。</p> <p>こうしたほうがいいとかの提案をいただければ工夫していきたいと思ひます。</p>
委員	こういう発信や会議をしたいというのをコロナの関係であきらめざるを得ないという話だったので、オンラインを使うことを考えたらいかがですかということです。
委員長	とてもいい話だと思います。この会議も教育関係に偏るきらいがあるので、教育関係以外の民間の方を入れてくださいという話をしました。
	それから、事業も大人向けの事業をしてくださいということも言ってき

	<p>ていますが、時間が夕方とか夜とかという話ができなかったですが、Zoomとか使いだすと、可能かもしれませんね。面白いかも。</p>
副委員長	<p>会議をZoomでやってみました。受ける側は簡単です。それを我々世代でもやりだすと楽しみも興味もある。理科大の先生の講座の中で、聞きたいものがありました。都合で行かれなかった。オンラインであれば自分の家で見るので、これからWithコロナで進んでいくときに、図書館では、最先端なことをやってほしい。そういうシステムを作っていけたらいいですね。</p>
図書館係長	<p>茅野市の動画配信サイト「ビーナネットChino」があるが、そこを使った発信も考えていけるのではと思います。</p>
委員	<p>単なる動画配信ではなく、双方向でできるというところが、最近のツールのいいところだと思いますけれども。</p>
委員長	<p>他にご意見ご質問はございますか。</p>
委員	<p>国立国会図書館デジタルコレクションを見たいという方がいらっしゃいます。茅野市は見られないと思いますが、どうなっていますか。原村と下諏訪町が見られるようになっているらしいですけども。お金がかかってできないのかその辺を教えていただければ。</p>
図書館係長	<p>端末を用意する必要があります。館内のインターネット利用端末の更改に合わせて、コレクションを見られる形にしていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>費用の問題はどうですか。</p>
図書館係長	<p>端末の費用は、庁内情報システムの経費で更改できます。あとは、プリンタの費用が必要になります。回線については、市の情報系の回線で大丈夫との確認が取れています。プリンタは最悪なくとも、印刷は国会図書館に依頼するという方法もとれます。</p>
委員長	<p>いつ頃になりますか。</p>
図書館係長	<p>新しい端末が来るのが、来年度の初めになると思うので、その後国会図書館に申請をすることになります。</p>
委員長	<p>他にご意見ご質問はございますか。</p>
副委員長	<p>何をやるにも広報は大事ということを感じています。図書館は広報があまり得意ではない。コミュニケーションを取っていく、ファンを獲得していくという意識を持った広報活動がこれからすごく必要になってくると思います。重点を置きながらやっていく必要がある、新しい日常が始まって、新しい図書館のやり方がこれから来ると思うので、それも含めて考えて</p>

	<p>いかなくはないといけないときが来ている。館長が変わったので、館長のコメント、意見も立派な広報活動なので、楽しみが生じるような広報を作りながら必要な人に必要なものを届けることを作っていかねばならないと思います。</p>
委員長	<p>館長が変われば、カラーも変わっていいのではないのでしょうか。</p>
副委員長	<p>誰かから、こうしたらという声がかかってくるっていましたが、こういうことだと思いました。ぜひ。</p>
委員長	<p>他にどうですか。</p>
委員	<p>館長さんは、園長先生をされていたので、子どもたちが楽しく行ける場所が大事かなと。子どもが行けば親が付いてくるので、来館者の人数がどうのではないですけども、子どもも親も楽しく図書館に行ける。立地条件は悪く、いままでもいろいろな話はしていますが、館長さんに期待しています。少しずつでも進めてほしい。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>貸出冊数、貸出人数に目標値は設定していますか。</p>
図書館係長	<p>事務事業評価では、入館者数を目標値として設定しています。貸出冊数、貸出人数については、目標値としていません。</p>
委員	<p>高校図書館では、県に対してアピールするために目標を定めて工夫してやっています。昨年度に比べてマイナスな数値が多い。危機感を持ち、予算を減らされるとか現実的なことがあるので、目標値をはっきりしたほうがいいと思います。</p>
図書館長	<p>毎月の利用状況を確認して、次の月にどうするかということはしています。去年もいろいろ工夫してやっていましたが、3月がコロナの関係で、停止したサービスがあったので、それがなければプラスに行っていたのではないかと思います。</p> <p>今年は、臨時休館期間もあり、コロナの関係で入館者数も減っていますが、一人の貸出冊数やネットでの予約は増えています。朝職員が予約の処理をして、それぞれ連絡をしますけれども、その部分はかなり増えています。具体的な目標値は立てていきたいと思います。</p>
委員	<p>茅野高もなるべくそれに貢献できるようにしたいと思います。頑張ってください。</p>
委員長	<p>高校生に本を読ませるのに、どんな工夫をしていますか。</p>
委員	<p>生徒一人一人にどんな本を読みたいか聞く。ある村の図書館を作るときに一軒一軒回って村民にどんな本を読みたいかをインタビューして図書館を作ったという事例がありました。とても感動して、そういうことは大事</p>

	<p>かなと思いました。</p>
委員長	<p>何らかの形で、市民が本を読む量を増やすことは大事だと思います。今まで図書館を評価するときに、貸出冊数を重要視しすぎて、漫画等を多く入れ、貸出冊数を稼ぐという傾向もあり、あまり貸出冊数を目標にすることは言わなくなったですけれども、本離れが進む中では、何らかの工夫をして、本を読む人を増やしていくことがとても大事なことだと思います。</p>
副委員長	<p>子どもより大人の方が本を読まない。子どもが本を好きなのは環境で決まってくると思います。だから、周りの大人が本に親しむ環境を作っていくのが大切なことだろうと思いました。</p> <p>なかなか図書館に行けないこともありますので、電子書籍の貸出数が増えてきているという新聞記事がありました。文字離れも進み中、10年20年後の先々を見据えると家で電子書籍を借りて読むことができれば、交通とか時間とかで制約され、物理的に行くことが難しくなってくる中で、新しい読書環境ができてくるのではないのでしょうか。</p> <p>はまりだすと、小説とか読んでいくようになるものですから、きっかけを作っていくために、紙媒体の本と同様に電子媒体も考えていかななくてはいけない時代がくるのではないかと思います。</p>
委員	<p>放送大学の学生は、ネットで予約して放送大学の本を借りられる。インターネットとうまく合致するともっと利用が増えるのかなと漠然と考えました。</p>
委員	<p>コロナの影響により書店で立ち読みができなくなっていて、図書館へ向かう人が増えていくのでは。子どもたちが調べ学習をするときにネットで見ると、ウィキペディアになるが、ウィキペディアはきちんと検証されていない。百科事典のポプラディアは館外へは借りられない。百科事典がネットで見られたら子どもたちは調べやすいのではないのでしょうか。</p> <p>調べ学習をやっていると、意外に9類ではなくて、2類・4類・6類とか普段手にしない本を読んだりするので、調べ学習するときに欲しい本があります。その場合、まずはポプラディアから入っていきますが、重くて運ぶのが大変。タブレットをたくさん入れていただいたので、それで検索できると思います。</p>
委員長	<p>データベース導入を検討するときに、子ども用の百科事典とかはどうですか。</p>
図書館係長	<p>茅野市図書館では、予算上の問題があってデータベースが導入できていません。県内では、導入が進んでいますが、新聞データベースを導入するところが多いです。</p>
委員長	<p>新聞データベースの需要は多いかもしれませんね。</p>
委員	<p>調べ学習をするときに図書館から借りたりしますが、ほかの学校へ回し</p>

	<p>たりもして、結構重たいものなので、1回移動したものをまた戻したりとかが大変です。</p>
委員長	<p>大人向けになるかもしれませんが、百科事典は電子辞書に入っているケースもありますね。</p>
委員	<p>学校に導入したタブレットは、どういう活用をするのでしょうか。図書館の本を借りたり、検索するなどの活用はどうでしょうか。本離れを防ぐのに、タブレットの活用はどうでしょうか。</p>
教育長	<p>本を借りるところまではいかない。検索機能はあります。今のところその学年の一番多い子ども人数分を入れていますが、これから予算をつけて、一人一台にしていきます。今、物が無い状態ですが、今年中には一人一台にしていきます。図書館のネットワークとつなげるかはこれからの検討課題です。利用は広がっていくと思います。</p>
委員	<p>ネットで検索したものを、学校図書館に持ち込んでこのこういう資料を見たいとか、そういう双方向的な交流はできます。調べるところが深まっていく。</p>
教育長	<p>ネット上で調べる教育もやっていかないと。Yahooキッズは安全だと思うけれども、ネットをそのまま信じちゃうということがあるといけないので、目をもっていけないといけない。</p>
委員	<p>図書館の利用が減ってしまう懸念もあるのでは。</p>
教育長	<p>図書館の本の検索がタブレットでできれば、例えば国語の中で、「あまんきみこ」と打ったら、学校の図書館、市の図書館の本が全部出てくる、この本うちの学校の図書館にないから、他から借りようとか、そういうことはやってみたい。</p>
図書館係長	<p>確認しましたら、子ども向けとして、ポプラディアネットのデータベースが、県下では県立長野・上田で導入されています。</p>
委員長	<p>他にいかがですか。</p>
委員	<p>新聞の本の紹介記事を読んで、本を借りに来る方がいるとおっしゃっていましたが、新聞を取っていない家が結構あります。図書館の入口に新聞の本の紹介コピーを掲示し、その横に館長さんの一言を添えたりしたらどうでしょうか。本の紹介は紹介する人の名前が出ています。カウンターに行っても、この人かなって見たり、親近感がわいて、館長さんに声をかけやすくなる。インターネットで見るとか大きくしなくても、人と人のつながりを持てるものがあっていいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>メディアの話が出ていますが、新聞記事の中で、電子書籍で絵本を見る</p>

人たちが多かったということが出ていましたが、それを見ながら、複雑な思いがあります。実際に子どもたちを見ると、本を手にして見る楽しさがあると思います。以前にテレビで見ましたが、2・3歳で絵本のページをスマホ風にめくろうとする子どもたちがいました。タブレットの画面と混同している。こういう子どもを作ってはいけないと思います。スマホを子どもに見せて子守をするご家庭がいる中で、ネットを環境に融合させる難しさを感じています。若い人たちはどんどん使いこなしているのに、うまく融合できるといいと思いますが、答えが出ません。若い人たちの発想もすごく必要だと思っています。

(2) 10年先、20年先の図書館を考えるための切り口と意見まとめについて

委員長

次の事項に進みたいと思います。「10年先、20年先の図書館を考えるための切り口と意見まとめについて」、館長お願いします。

図書館長

(資料5について、図書館長から説明を行う。)

委員長

これは特別まとめなくても良いですか。

図書館長

第2回の協議会までに、図書館側で考えていくこともありますし、皆さんからご意見をいただけるものもありますし、段々にやっていけばと考えています。ここで何かご意見があればいただきたいと思います。

委員長

何かご意見ありますか。なければ、これは、次回ということでお読みいただければと思います。

生涯学習課長

この話は、今市で取り組んでいる公共施設再編計画に結びついてくるものになります。図書館のあり方について検討している訳ですけども、今築40年ですが、市の考え方とすればたぶんもう10年は持たせる方向になると思います。その後図書館をどうするか、立地的な面も見て、図書館協議会の中で、結論出しをしていかなければならないと思いますが、市のアドバイザーの話を総合する中で、最終的には移転新築が一つの選択肢になってくる。ただ、費用的なものがないので、例えば区画整理に絡めてやるのかということも考えられます。

今の図書館を使い切るだけは使って、その後は移転新築の道かなと個人的には考えていますが、そういう方向で結論出ししていければ。その中で、今出ているご意見のサービスのものを拡充していければいいのかなと考えています。再編計画については、この出されたご意見をもとにまとめさせていただき、年度内くらいに結論出しをしたいと考えています。次回まで待てない場合は、この資料を踏まえながら、ある程度事務局でまとめさせていただきたいと思います。

委員長

切り口については、図書館協議会の委員さん方に図書館を考えたときに必要なものを出していただいて、それを整理して皆さんにお配りして評価していただいたものです。なるべく差がつくように評点に工夫をしていま

	<p>す。ご覧になっていただいて次回ご意見をいただければと思います。</p>
委員長	<p>7 その他 次に、7 その他になります。「茅野市図書館の新型コロナウイルス感染拡大防止対応状況について」</p>
図書館長	<p>(資料6について、図書館長から説明を行う。)</p>
委員長	<p>何かご意見ありますか。 (特に意見はなかった。)</p>
生涯学習部長	<p>一点、市の方から新型コロナウイルス感染拡大防止対策において、4月5日から休館になったことについては、その時は、諏訪管内で感染者が出て、危険性があるということで、休館ということになりました。 その後感染者は市町村ごとに発表することになり、茅野市から出たとしても、感染状況・経路が追えるか等により、すべての施設を確実に閉めるということではなく、その都度状況を見ながら休館、部分的な縮小を判断することになりましたので、4月当時とは状況が変わってきたということをご理解いただきたいと思います。 ただ、今東京を中心にすごく流行ってきているので、第2波がいつこちらの方へ来て、蔓延するかわかりませんので、皆さんにも注意していただかなくてはならないし、また、休館という状況になるかもしれませんが、ご理解いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、会議事項はこれで終わりにします。ありがとうございました。</p>
生涯学習課長	<p>その他、事務局で何かありますか。</p>
図書館係長	<p>(会議録の確認方法について、事務局から委員にご依頼)</p>
生涯学習課長	<p>8 閉会 どうもありがとうございました。新しい館長になったということでだいぶ意見も活発にあったという気がします。館長に対する期待がかなりあると感じました。これから、図書館のためにご意見をいろいろいただき、それを精査しながら、よりよい図書館に向けて図書館職員一同、我々も一緒になって、頑張っていきたいと思います。 また、コロナともうまく付き合っていかなければいけない時代です。ここまで緩和してきていますので、後戻りはなかなかできないのではないかと思います。図書館は会話がとても多い施設ではないので、施設の特性として休館の対象からは外れてくるのではないかと思います。 以上をもちまして、令和2年度第1回茅野市図書館協議会を閉会といたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>